



2022年10月14日

株式会社 阿波銀行

日本フネン株式会社の「SDGs 宣言書」策定について  
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡 奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、日本フネン株式会社（代表取締役 久米 徳男、本社：徳島県吉野川市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

#### 【企業概要】

企業名	日本フネン株式会社
所在地	徳島県吉野川市川島町三ツ島字新田 179 番地の 1
代表者	久米 徳男
業種	鋼製建具製造販売業
設立	1974 年 1 月 31 日

#### ○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

# SDGs宣言書

2022年10月14日



## 日本フネン株式会社 代表取締役 久米 徳男

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、ものづくりを通じて社会に安全と安らぎを提供することにより、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
環境・経済	環境配慮型・災害対応型製品の提供	持続可能な社会の実現のため、環境配慮型製品・災害対応型製品の提供を推進します。	① (1) 環境・災害に対応した製品の生産割合向上 (2) 製品原材料や付属品等におけるサステナブル製品採用を検討		
			② (1) 2030年までに当社全体の製品のうち、環境対応製品の生産割合を70%以上 災害対応製品の生産割合を90%以上 (2) 2030年までにサステナブル製品の採用を検討し、可能なものより順次導入		
社会・経済	女性活躍の推進を含む多様性の確保	あらゆる経験・技能を反映した多様な視点や価値観による仕事上の機会を得ることができる職場を目指し、女性社員を含めた社員の技術向上やキャリアアップを支援します。	① 社外研修及び社内外講師による研修実施		
			② 年5回以上研修セミナーを実施		
経済	経営理念・目標の発信、浸透	経営層が自社の事業方針について社員一人ひとりに浸透するように、主体的に努めます。	① (1) 理念浸透に繋がる社内研修の実施 (2) 「共感経営」(社内冊子)の浸透		
			② (1) 年3回以上研修を実施 (2) 5年に1回「共感経営」改版の実施		
社会・経済	顧客ニーズや課題の把握・改善	ステークホルダの意見やニーズを積極的に収集し、スパイラルアップする経営を目指します。	① 顧客満足度調査を実施し、顧客の声を取り入れた製品開発・経営を実践		
			② 年1回以上満足度調査を実施		



### SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs : Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。

